

■自己評価結果公表シート (平成 29 年度) 学校評価委員会資料 ①保育園

1、園の保育目標

- ① よく考え、よくみつめる
- ② よく食べ、よく遊び、健康に過ごす
- ③ 友達と元気に仲良く遊ぶ

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ◎積極的に研修に参加し、課題を持って主体的に保育を学ぶ
- ◎アレルギー児に寄り添った対応を心がけると共に、誤食のないように取り組む。
- ◎保護者に積極的に子どもの様子を伝え、一緒に成長を喜ぶ。
- ◎兄妹学級では、幼稚園の先生や子どもに自然に親しみが持てる働きかけをする。
- ◎段階に応じた遊びを設定し、コーナー遊びを充実させる。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
積極的に研修に参加し、課題を持って主体的に保育を学ぶことに努めたか。	積極的に外部の研修、園内研修に参加した。園内研修では、一人ひとりが意見を言い合い、保育の見直しに繋がった。
アレルギー児に寄り添った対応を心がけると共に、誤食のないように取り組めたか。	人的ミスで誤食があった。状況の振り返りを行い、チェック体制の強化に努めた。
保護者に積極的に子どもの様子を伝え、一緒に成長を喜ぶことができたか。	連絡帳や伝達で、保護者の気持ちに寄り添うことはできたが、園のきまりや、子どもを主体にした意見をもっと伝えるべきであった。
兄妹学級では、幼稚園の先生や子どもに自然に親しみが持てる働きかけができたか。	兄弟学級の日、年中児と遊んで刺激を受ける子どももいたが、子どもによっては、緊張して委縮してしまう姿も見られた。自然にかかわる環境づくりを見直す必要がある。
段階や年齢に応じた遊びを設定し、コーナー遊びを充実させることができたか。	子どもの様子を見て、玩具を変えたり、コーナー遊びを充実させたりできたが、定期的に玩具を見直すことができなかった。また、落ち着いた環境づくりの工夫も必要だった。

◎ 4、 の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

B	<p>昨年度よりも評価が上がった。経験年数の長い先生が園内研修を行い、一人ひとりの保育に対する意欲が高まった。アレルギー対応に関しては、誤食に対する危機感を共有し、皿の色を変えチェック体制を整えた。今後も園全体で取り組む必要がある。</p>
---	--

5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み状況
個々の気持ちに寄り添った担当制保育	発達段階だけではなく、個々の性格や意欲を見据え、担当制の枠にとらわれず一人ひとりの思いを汲み取る
アレルギーの対応	職員の知識を深め、子どもの気持ちに寄り添った対応を心がけると共に、誤食のないように園全体で取り組む
資質向上	園内外の研修に積極的に参加し、保育内容の知識を深め、積極的に保育に活かす
異年齢交流	低年齢児の子どもの気持ちに寄り添い、幼稚園児と自然なかかわりをねらいに置き、幼稚園職員と連携する
環境美化・安全な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外にかかわらず、常に整理整頓、美化に努める ・常日頃から、ヒヤリハット、安全を意識して保育に取り組む